

H30 水稻作況情報

○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月20日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植 3本植
- ・栽植密度 20.8株/m²(16cm×30cm)
- ・施肥 (N-P-K kg/10a)

基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

○気象

・育苗期間

気温は5月の播種期以降ほぼ平年並みに経過した。日照時間は5月第6半旬で平年を下回り、6月第1半旬では平年より上回った。

・生育期間

気温は6月第3半旬から第5半旬にかけて平年よりやや低く推移し、その後7月上旬にかけて平年より3～4℃高く推移した。日照時間は6月第2、3半旬は平年を下回ったが、6月第5半旬から7月第1半旬にかけて平年を上回った。降水量は6月第4半旬および7月第1、2半旬には平年を大幅に上回った。

○生育概況

・育苗期間

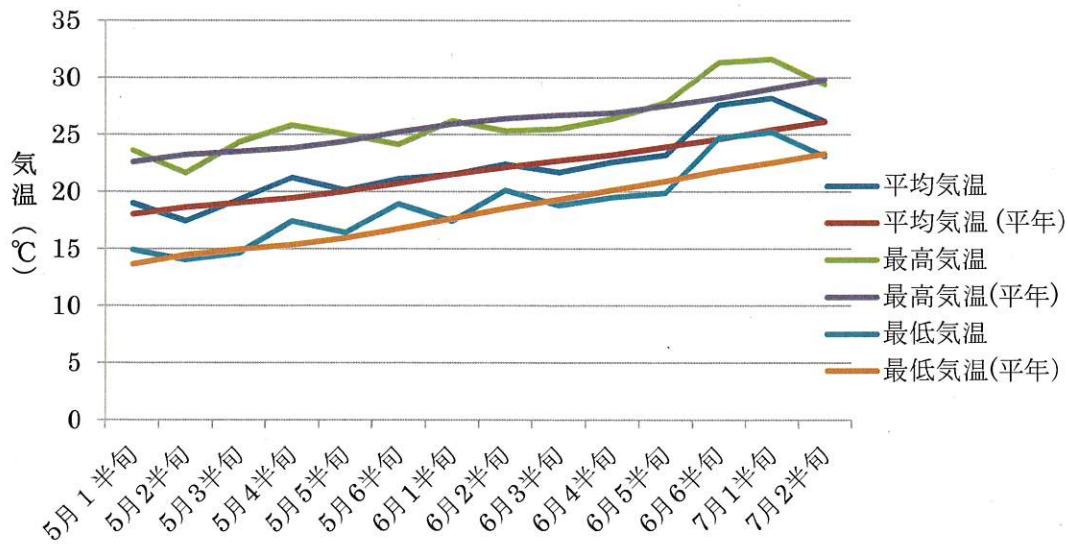
苗質は、葉齢はキヌヒカリ、きぬむすめは、ほぼ平年並みであったが、ヒノヒカリでは平年をやや下回った。草丈はいずれの品種も平年をやや上回った。

・生育期間

葉齢は、いずれの品種もほぼ平年並みに推移した。草丈は、いずれの品種も移植後10日では平年を下回ったが、移植後30日では、平年並みであった。茎数は、いずれの品種も移植後20日では平年を下回って推移した。また、移植後30日では、その傾向は続き、特に、キヌヒカリ、きぬむすめで顕著であった。

項目	調査日	キヌヒカリ			きぬむすめ			ヒノヒカリ		
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
葉齢(葉)	6月10日	3.2	-0.1 葉	0.0 葉	3.1	0.1 葉	0.1 葉	3.2	-0.5 葉	-0.2 葉
	6月20日	6.2	-0.1 葉	-0.1 葉	6.2	0.1 葉	0.0 葉	6.2	0.1 葉	-0.2 葉
	6月30日	8.1	0.4 葉	0.1 葉	8.2	0.5 葉	0.2 葉	8.2	0.6 葉	0.2 葉
	7月10日	10.1	-0.1 葉	-0.2 葉	10.3	0.1 葉	0.0 葉	10.4	0.1 葉	0.1 葉
草丈(cm)	6月10日	15.6	80 %	103 %	15.9	82 %	104 %	15.0	89 %	107 %
	6月20日	21.7	102 %	90 %	22.9	110 %	90 %	20.1	99 %	93 %
	6月30日	31.5	92 %	94 %	31.4	99 %	96 %	27.7	104 %	96 %
	7月10日	56.5	100 %	101 %	54.2	100 %	100 %	46.5	102 %	100 %
茎数(本/m ²)	6月20日	63.0	100 %	100 %	63.0	100 %	100 %	63.5	102 %	99 %
	6月30日	185.8	93 %	88 %	171.2	104 %	91 %	178.1	124 %	86 %
	7月10日	329.5	85 %	86 %	339.9	89 %	86 %	378.8	108 %	94 %
乾物重(mg/本)	6月10日	16.6	65 %	94 %	17.4	78 %	101 %	15.8	68 %	94 %

半旬別気温の推移 (2018)



半旬別降水量・日照時間の推移 (2018)

